

縄文文化の成立

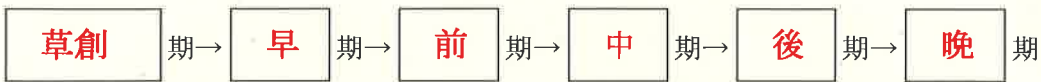
〔時期〕 約1万数千年前～紀元前(B.C.)4世紀頃

1. 特徴

- ◇1 **弓矢** の出現←中・小型獣の獲得←環境変化により動物相も変化
- ◇2 **土器** の出現(「縄文文化の名の由来」)
- ◇3 **磨製石器** の出現(世界史的には「新石器時代」) ※打製石器も使用

2. 道具 [図表P.30&32]

(1) 縄文土器…低温で焼成。厚手。色は4 **黒褐色**。器形の特色などにより 6期に分類。
(時代の古いほうから順に…)



※青森県・5 **亀ヶ岡** 遺跡から発掘された土器は縄文土器の完成型といわれる。

(2) 石器(打製、磨製)

(ここから東日本の精巧な土器を5 **亀ヶ岡式土器**という)

- ①6 **石鏃** …矢の先端につける矢じり。
- ②7 **石匙** …動物の皮をはいだりなめしたりする。
- ③8 **石皿** …木の実などをすりつぶす。すり石とセット。
- ④9 **石錘** …漁労の発達の一例として網漁が行われたことが推定される。

(3) 10 **骨角器** …釣針、銚もりなど

縄文人の生活と信仰

1. 生業 ☆基本は狩猟採集経済 (晩期には一部で稲作も開始)

- ◇貝類の大量の残骸 (=貝塚) …代表的な遺跡：東京都11 **大森** 貝塚 [P.13①]
- ◇クリの栽培を行っていた可能性…青森県12 **三内丸山** 遺跡 [図表P.31]
- ◇縄文晩期の水田跡…福岡県13 **板付** 遺跡：佐賀県14 **菜畑** 遺跡 [図表P.31]

2. 住居～定住的な集落の発達

- ◇水辺に近い台地上に15 **竪穴** 住居の環状集落 [奈良時代までの一般住居] [図表P.32②]

◇ 弓矢に加えて「落とし穴」も教科書に載っていましたね。

◇ 「磨製石器」の「磨」は、摩擦の「摩」ではありません。つい間違える人が毎年多くいます。

◇ 図表P.29の②を見てもわかるとおり、磨製石器が現れても打製石器はすぐにはなくなりません。

◇ 亀ヶ岡遺跡のアクセスにはJR木造きづくり駅を利用します。木造駅を画像検索してみましょう。本来であれば列車が近づくと目が光るのだそうです。

◇ 石錘からわかる網漁の存在、銚・釣針などの漁労具の発達、丸木舟の制作などは、気候変動による海面の上昇とからめて、完新世の始まり＝縄文時代の特徴として印象づけよう。

◇ 骨角器の一つである釣針の写真を図P.32で見ると、魚が外れやすい針と、外れにくくする「返し」がついた釣針とがすでに存在していることがわかります。余談ですが、私はこうした構造の釣針を指に刺してしまったことがあります。結局お医者さんに麻酔を打ってとってもらったのですが、神経が集中している指先への麻酔は半端なく痛いんです。麻酔をしないわけにもいきません。皆さん、返しがついた釣針の扱いにはくれぐれも注意しましょう。

◇ モースは開通間もない列車にっているときに、その車窓から大森貝塚を発見したそうです。当時の列車が遅かったせいもあるでしょうが、それだけ目立つものを日本人は気にもとめていなかったということですね。ということで、教科書P.13①にあるように、この大森貝塚の発掘調査が近代科学としての日本の考古学の始まりとされているわけです。

◇ **板付遺跡や菜畑遺跡の水田は現在、「縄文時代から水稻耕作は始まっていた！」的な扱いをされていますが、「水稻耕作が始まっているのならそれはすでに弥生時代と言っている！」説もあり、将来弥生時代の始まりはもっとさかのぼるかもしれません。**